

第43週の発生動向 (2005/10/24 ~ 2005/10/30)

1. 警報・注意報は出されていませんが、伝染性紅斑の届出数が増加傾向にありますので、注意が必要です。

第43週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	1	0.13											1	0.02	1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.38	8	0.80	1	0.11	1	0.20			2	0.50	15	0.36	-5
(62) 感染性胃腸炎	20	2.50	3	0.30	14	1.56	3	0.60	2	0.33	5	1.25	47	1.12	-10
(63) 水痘	11	1.38	6	0.60	6	0.67	8	1.60	9	1.50	5	1.25	45	1.07	-12
(64) 手足口病	4	0.50	1	0.10	1	0.11			1	0.17			7	0.17	-2
(65) 伝染性紅斑	12	1.50	5	0.50	1	0.11			6	1.00			24	0.57	9
(66) 突発性発しん	4	0.50	2	0.20	5	0.56	2	0.40	3	0.50	2	0.50	18	0.43	-8
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															-1
(69) ヘルパンギーナ	3	0.38	5	0.50									8	0.19	2
(70) 麻疹(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	10	1.25	4	0.40	10	1.11	9	1.80	5	0.83	3	0.75	41	0.98	-2
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	5	2.50			2	1.00	2	2.00	5	2.50			14	1.27	-9

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (13) パラチフス(二類全数把握疾患) 上十三保健所管内: 3人 (17年計 3人)
- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (17年計 14人)
- (46) ウイルス性肝炎(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (17年計 1人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 3人 (17年計 127人)

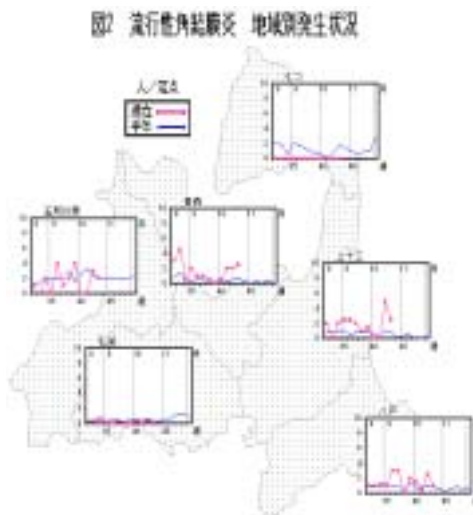
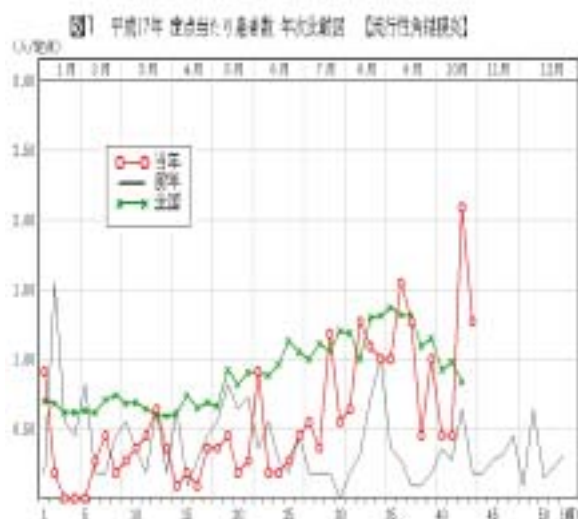
感染症の啓

流行性角結膜炎

流行性角結膜炎は、主に夏場に流行する感染症ですが、今年の本県では10月下旬に増加が見られました(図1)。

地域的には、青森、八戸、五所川原、上十三保健所管内で高く推移しています(図2)。

流行性角結膜炎は、接触感染しますので、予防方法としては、**手洗いの励行**のほか、**患者との洗面器やタオルの共用を避ける**ことがあげられます。



症状: 眼脂、流涙、眼瞼の強い充血及び濾胞、耳前リンパ節の腫脹等

病原体: アデノウイルス
 血清型: 3・4・8・11・19・37型